

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【堀江小学校】

＜第4学年：いろいろな人とふれあおう＞

最初に、障がいのある方の暮らしの様子や、生活を便利にする道具について調べ学習を行った。その活動を通して、学校や地域のバリアフリーについて調べ、点字ブロックやスロープ、車椅子対応トイレなどが地域のいろいろな場所にあるということに気付いた。

その後、「障がいのある人との共生について調べよう」というめあてを持ち、障がいのある方をゲスト・ティーチャーとして学校に招いて、話を聞いたり、車椅子体験をしたりする活動を行った。

講話では、「障がいをもっている、やりたいことに積極的にチャレンジしている。」「障がいは周りの人の行動や施設・設備などによって、なくすことができる。」など、前向きな話を聞いた。漠然と「障がいがある人と生活するのは大変そう。」と思っていた児童たちも、障がいのある人に対する自分たちの行動がとても大切であるとの考えを新たにしていた。

車椅子体験では、二人一組で補助する側、補助される側の両方を体験した。最初に車椅子の使い方や介助の方法、注意点についての説明を聞いた後、狭いトイレの中でのUターン、でこぼこな道、坂道、段差などがあるコースで体験を行った。



初めて体験した児童がほとんどで、「少しの段差や傾きでも動かすのが大変。」「大きな段差は、乗っている方も怖い。」「困っている人がいたら、自分から手助けができる人でありたい。」などの感想が聞かれた。

今回の活動は2時間程で、活動範囲も限られたものであった。給食を一緒に食べる、移動を手伝う等の活動を行うことができれば、さらに有意義な活動になったと思われる。

